

平成 26 (2014) 年度 全国プラネタリウム研修会・日立 2014 開催内容

- 開催日 平成 26 年 12 月 8 日(月) ～ 10 日(水)
- 会 場 日立シビックセンター (茨城県日立市)
- 主 催 日本プラネタリウム協議会、JPA 日立研修会 2014 実行委員会
- 共 催 公益財団法人日立市科学文化情報財団
JPA 関東プラネタリウムワーキンググループ
- 協 賛 株式会社セガトイズ ※パネルディスカッションへの協賛
- 参加申込 平成 26 年 10 月 1 日(水)～11 月 8 日(土) 17 時 (完全締め切り)
- 参加費振込 平成 26 年 10 月 15 日(水)～11 月 8 日(土)
- お問合せ tenkyu@civic.jp 日立シビックセンター科学館 担当 井上清正

テーマ

「ゼロから極めるプラネタリウム」

一言でプラネタリウムと言っても、この単語には様々な意味が含まれています。例えば、星空の投影やオート番組等のプログラムのことであったり、システムのことであったり、施設自体または空間を指す言葉でもあります。送る側には人とシステムが存在し、受ける側にもまた人が存在します。総合的に見れば、やはりプラネタリウムとは奥が深くて当然な世界のようなのです。そんなプラネタリウムに関連する仕事に従事している私たちは、その意味を理解し、その価値を把握し、その魅力を提供できているのでしょうか。

今回の研修会では、プラネタリウムを様々な角度から捉え、初任者も中堅者も一旦『ゼロ』に立ち返り、改めて、見識を深めていただきたいと思います。また、分科会等の参加型のプログラムを充実させることで、技術的なスキルアップも図っていただきます。

心身共に、大海原のように広大なプラネタリウムの世界に浸る3日間。皆様なりの『プラネタリウム』を見つけ出し、集いし仲間と共に、その世界を発展させてまいりましょう。

1. 日程

全国プラネタリウム研修会・日立 2014 では、初任者もベテランも有意義な3日間を過ごせるような内容を予定しています。分科会Aは、2つのプログラムから選択してください。分科会Bは、3つのプログラムから選択してください。 ※参加希望者が多数の場合は、会の進行の都合で人数調整いたします。第二希望になる可能性があります、ご了承ください。

12月8日(月)

- 12:20～13:00 受付(ホール)
- 13:00～13:50 開会式・アイスブレイク
- 14:00～15:00 ドームセッション①「若宮崇令×大平貴之対談」
- 15:10～17:00 分科会A(講義形式)
- 17:10～ 事務連絡・写真撮影
- 公式日程第1日目終了-----
- 18:30～20:30 情報交換会(会場:ホテル テラス・ザ・スクエア日立) ※希望者のみ

12月9日(火)

- 9:00～10:00 ドームセッション②「プラネタリウムの過去、現在、未来」
- 10:10～12:00 分科会B(ワークショップ形式)
- 12:10～12:50 ドームセッション③「宇宙にダイブ」～星と人物とを融合させた新しい表現方法
- 12:50～14:00 昼食
- 14:00～17:00 分科会B 続き
- 17:10～17:15 事務連絡
- 17:20～17:50 ドームセッション④「満天の星スペシャル」
- 公式日程第2日目終了-----
- 18:10～19:30 ナイトセッション「上坂浩光、炎の番組制作魂ディスカッション」 ※任意参加
- 18:30～ 懇親会(会場:格子屋) ※希望者のみ

12月10日(水)

- 9:00～10:00 分科会B報告会
- 10:10～11:30 パネルディスカッション「プラネタリウムにできること～分野を超えて見出す無限の可能性」
- 11:45～ 閉会式
- 公式日程第3日目終了-----
- 午後 日立満喫ツアー
関東プラネタリウム巡り

2. 参加申込の方法

研修会に参加するには申込みと参加費が必要です。申込みは WEB 上の参加申込フォームにて行っていただきます。申込フォームへは以下の URL にアクセスしてください。

***** 参加申込フォーム *****

<http://planetarium.jp/article/103641204.html>

※10/1 より稼動

平成 26 年 11 月 8 日(土) 17 時 完全締め切り

締切日を過ぎますと参加申込はお受けできません。ご注意ください。

【申込みの諸注意】

- 参加申込みは参加者お一人ずつ必要です。一会員内から複数名ご参加の場合でも、お一人ずつ参加申込フォームへの入力をお願いいたします。
- 分科会 B は、必ず第二希望まで記入してください。 参加分科会は、第二報（11 月下旬）にてお知らせいたします。
- 申込みには必ず、本人に届くメールアドレスをご記入ください。第二報などの今後のご案内は、メールにてお知らせいたします。
- 諸般の事情により上記フォームをご利用できない場合のみ、下記へのご連絡をお願いいたします。
電話：0294-24-7731 日立シビックセンター科学館 担当 井上清正
※その他のお問合せは E-mail でお願いします。tenkyu@civic.jp（宛先は上記に同じ）

3. 参加費

[J P A 会 員] ¥5,000 / 人 [J P A 非 会 員] ¥6,000 / 人

- 上記は参加費です。交通費、宿泊費、食費、情報交換会費等は含まれておりません。
- 参加費は事前に参加申込みを済ませたうえで、下記口座あてにお振込みをお願いします。
- 参加費振込“受付”は 10 月 15 日（水）からです。
- 参加費振込“締切”は 11 月 8 日（土）までです。翌営業日扱い（11/10）となるのは構いません。
- 当日、受付で現金による参加費の支払いはできません。
- JPA の大会で採用されておりました「5 人目以降の加算」「学生割引」は廃止となりました。
- 参加費振込後に参加を取り止める場合は、送金費用差引の上、返金いたします。
- 恐れ入りますが、振込み手数料はご負担願います。

■参加費の振込先

振込受付は、10月15日（水）からです。参加申込開始日と異なります。ご注意ください。

【ゆうちょ銀行から振り込まれる場合】

番 号：	1 2 3 1 0	番 号：	3 4 9 0 7 3 2 1
名 前：	日本プラネタリウム協議会（ニホンプラネタリウムキョウギカイ）		

【ゆうちょ銀行以外の金融機関から振り込まれる場合】

銀行名：	ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）		
店 名：	二三八（読み ニサンハチ）	（店番	238）
種 目：	普通預金		
口座番号：	3 4 9 0 7 3 2		
口座名：	日本プラネタリウム協議会（ニホンプラネタリウムキョウギカイ）		

- 領収書が必要な方は参加申込フォームに、領収書の宛名を明記してください。
- 領収書の但し書きは「全国プラネタリウム研修会・日立 2014 研修会費として」となります。但し書きに変更が必要な場合は、参加申込フォームに内容を明記してください。

4. 情報交換会(希望者のみ)

研修初日の夜に情報交換会を行います。 会費 5,000円/人

※情報交換会の会費は、受付の際に現金でお支払いいただきます。

参加希望の方は、参加申込フォームでのチェックをお願いします。

【会場 『ホテル テラス・ザ・スクエア日立』 茨城県日立市幸町 1-20-3 Tel : 0294-22-5531】

5. 懇親会(予定 希望者のみ)

研修会2日目の夜に懇親会を行います。 会費 4,000円/人 (予定)

※懇親会の会費は、受付の際に現金でお支払いいただきます。

ナイトセッション終了後からの参加も可能

飲み放題でのプラン（地酒あり）を予定しております。

参加希望の方は、参加申込フォームでのチェックをお願いします。

【会場 『格子屋』 茨城県日立市幸町 2-8-9 Tel : 050-5797-3664】

6. ドームセッション①～④

①対談

『若宮崇令×大平貴之対談』

登壇者：若宮 崇令 氏（茅野市八ヶ岳総合博物館 館長）

大平 貴之 氏（有限会社大平技研）

プラネタリアンとして長きに渡り活躍し、JPA設立にも尽力された若宮氏。若宮氏からプラネタリウムの基本を学び、プラネタリウムクリエイターとして、機器設計、システム開発から企画提供、コンテンツ制作まで幅広く手掛ける大平氏。研修会のオープニングを飾る夢の師弟対談。

立ち位置の異なる両氏に、『プラネタリウム』について語っていただきます。

②講演会

『プラネタリウムの過去、現在、未来』

講師：伊東 昌市 氏（国立天文台）

日本に初めてプラネタリウムができたのが1937年。初めてのプラネタリウムが誕生するまでの背景や経緯、また最初のプラネタリウムから現在のプラネタリウムになるまでに、どのように進化し、変遷をとげたのでしょうか。日本のプラネタリウムに長らく貢献し世界的にも活躍している伊東氏にお話しいただきます。

③UNIVIEW セッション

『宇宙にダイブ』～星と人物とを融合させた新しい表現方法

パーサー&C.A.：演劇ユニット☆宇宙食堂

パイロット：日立シビックセンター天球劇場スタッフ

日立シビックセンター天球劇場に設置されているデジタルプラネタリウム『UNIVIEW』を使って、宇宙空間を楽しんでもらう参加型のドームセッションです。同じシステムを所有する山梨県立科学館が一般向けに実施したワークショップを、全国プラネタリウム研修会版として行います。

④MEGASTAR セッション

『満天の星スペシャル』

投影：日立シビックセンター天球劇場スタッフ

日立シビックセンター天球劇場に設置されている光学式プラネタリウム『MEGASTAR』の星空を、時に軽快に、時にゆったりと堪能していただくリラクゼーション型のドームセッションです。定期的開催しているプラネタリウム夜の特別上映「MEGASTAR スペシャル」と「アロマスペシャル」をアレンジして、ショートプログラムとして上映いたします。

7. 分科会A(講義形式) 2種類からひとつ選択

分科会A①

『プラネタリアンの心得』

講師：若宮 崇令 氏（茅野市八ヶ岳総合博物館 館長）

プラネタリウム、そしてそれに携わるプラネタリアンを取り巻く状況を皆さんはどのように感じ、どのような心持ちで日々業務に臨んでおられるでしょうか。あらゆるものが目まぐるしく変化する現代において、プラネタリウムもおそらく例外ではありません。時代とともに、変わるもの・変わらないもの。プラネタリウムの使命は何か、プラネタリアンにはどのようなことが求められているのか。プラネタリウムの仕事の苦勞も喜びも知り尽くした若宮氏にプラネタリアンの「心得」をお話しいたします。

分科会A②

『プラネタリウム解説の組み立て方法』

講師：高幣 俊之 氏（株式会社オリハルコンテクノロジーズ）

講師サポート：井内 麻友美 氏（葛飾区郷土と天文の博物館）

プラネタリウム解説（演出）を組み立てる上で必要なことについて学びます。

プラネタリウムドーム内でのデモンストレーションを通して、プラネタリウム解説員がどんな道具や手法を使いながら星空や天文情報を伝えてきたのか、多様化している「プラネタリウム解説」の概念・イメージを、もう一度、参加者一同で振り返ります。

また、デジタルプラネタリウムが「プラネタリウム解説」でどんな使い方ができるのか、システム開発者（作り手）とプラネタリウム解説員（使い手）のデモセッションでご覧いただきます。加えて海外でのトレンドや、私たち日本国内での可能性と未来についても紹介します。

8. 分科会B(ワークショップ形式) 3種類からひとつ選択

分科会B① 初任者からベテランまで生解説の腕を磨きたい方・プラネタリウム解説に興味のある方

『解説員同士で語る・つかむ・みつける「プラネタリアンの心得」』

講師：永田 美絵 氏（コスモプラネタリウム渋谷）

アドバイザー：若宮 崇令 氏（茅野市八ヶ岳総合博物館 館長）

光学式プラネタリウムを用いた生解説に重点を置いて、プラネタリウム投影における基礎的な技術（発声・滑舌・ポインターの使い方など）や考え方を身につけます。さらに、トラブル対処、投影・運営における悩みなど、参加者同士で解決法を探るワークショップ形式の分科会です。初任者も！ベテラン解説員も！それぞれの経験を語りあい、自分自身の現状を把握し、明日からの自分なりのミッション、これからのプラネタリウム解説員のミッションをみつけませんか。プラネタリアンとしてきっと「かけがえのないもの」がつかめる分科会です。

分科会B② プラネタリウム番組の組み立てに興味がある全ての方

『プラネタリウム解説の組み立て方法 ～実践編』

アドバイザー：高幣 俊之 氏（株式会社オリハルコンテクノロジーズ）

分科会Bでは、分科会A②で学んだことを元に、さらにグループに分かれて5分程度の“番組”を作成していただく実践編です。ここでいう“番組”とは、オート番組に限らず、私たちプラネタリウム解説員がある天文・宇宙の事象について来館者に説明する一連の流れを指します。提示されたテーマについて何を伝えるのか、どう伝えるのかをチーム内で議論し、日立シビックセンター天球劇場の機器を活用して組み立てていただきます。完成した番組は、3日目報告会での発表を予定しています。

グループ分けとテーマは申込終了後、本コースを選択した皆さんに事前に通知いたします。事前に各自で構成などを考えてきていただきます。詳細は第二報でご案内いたします。

本分科会の定員は2～3グループ（1グループ6～10人）で最大30人を想定しています。

また、2日目の18時以降にプラネタリウムで各グループ作業時間を取る予定です。

プラネタリウム館の職員という同志である他館の皆さんと協働することで新たな視点やアイデアを得ることができる分科会です。皆さんの参加を心よりお待ちしております！

分科会B③ 撮影・素材作成初心者から関心がある全ての方

『心に響くドーム素材作成 ～撮影と画像処理～』

講師：KAGAYA 氏（プラネタリウム映像クリエイター・「銀河鉄道の夜」監督）

講師サポート：三好 心 氏（写真家・映像システムプロデューサー）

生解説やコンサート等、オリジナルの素材を活用できると演出の可能性が格段に広がります。この分科会では、ドームに適した写真撮影や画像処理、星景タイムラプスの方法について講習します。また、圧倒的な色彩表現で知られる KAGAYA 氏から、画像処理のコツをレクチャーいただきます。写真撮影初心者の方、地域の風景を投影したい方、星景写真の撮影や解説をしたい方、大歓迎です。まずは撮影から投影方法を体験し、オリジナル素材を活用した幅広いドーム演出の可能性を一緒に模索しましょう。

①ドーム映像について：特徴・注意点（コントラスト・ドーム内反射など）・構図や露出の考え方

②撮影：ドーム内で星景タイムラプス撮影・屋外撮影

③画像処理：RAW から現像・ドーム投影に適したコントラスト調整や部分補正・ドームマスター出力

④ドームでの投影：見え方の確認・良い例悪い例などディスカッション

【分科会B③参加希望の方へのお願い】

分科会B③「心に響くドーム素材作成 ～撮影と画像処理～」では、機材を使用します。下記持ち込み可能な機材がある方は申込時にご連絡ください。（グループ実践のため、機材がない方も参加できます。）

デジタル一眼レフカメラ（ミラーレス可）／三脚／パソコン（指定するフリーソフトを事前にインストール可能であること）

9. ナイトセッション(任意参加)

『上坂浩光、炎の番組制作魂ディスカッション』

講師：上坂 浩光 氏（有限会社ライブ・「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」監督）

プラネタリウム番組を作る上で、必要なもの。テーマ、時間、製作費、市場、信頼関係、何よりも良い作品を作り上げようという気持ちと核心。将来のドーム映像への期待、日本だけでなく海外の事情も交えて、上坂氏の今までの作品を例に挙げながら、双方向ディスカッションを行います。

※はやぶさ2の打ち上げ状況により中止になることがあります

10. パネルディスカッション

※このプログラムは、株式会社セガトイズ協賛です。

『プラネタリウムにできること ～分野を超えて見出す無限の可能性』

パネラー：高梨 直紘 氏（東京大学 特任准教授）

森山 朋絵 氏（東京都現代美術館 学芸員）※予定

コーディネーター：鷹 宏道 氏（平塚市博物館）

宇宙が身近になるにつれ、プラネタリウムに限らずさまざまな場で、宇宙が語られるようになってきました。芸術や学術の観点から、プラネタリウムにできることは何か、現代社会に何を発信していけるのか、可能性について議論し、プラネタリウムの将来を展望します。

パネラーは、天文学と社会の関わりについての研究がご専門の「天文学普及プロジェクト 天プラ」代表高梨氏と、この夏好評を博した展覧会「ミッション[宇宙×芸術]ーコスモロジーを超えて」企画総括を担当された森山氏を予定しております。

11. 昼食について

会場周辺には、飲食店がたくさんありますので各自でご利用ください。（お食事処マップを用意する予定です）または、コンビニで購入し、館内で飲食することも可能です。

2日目の昼食時間（12:50～14:00）に、任意参加のプログラムを企画中です。昼食の前後に短時間で参加が可能なプログラムになります。内容は、当日のお楽しみとさせていただきます。

その他のご案内

■3日目午後

お時間がある方は、日立満喫ツアーへの参加や、関東プラネタリウム巡りなどはいかがでしょうか。

日立満喫ツアー

参加費 2,000円/人 ※先着 50名 ※定員になり次第 JPA メーリングリストにてお知らせします

【ツアー内容（予定）】

ホテルで昼食 - 日立シビックセンターオリジナル番組観賞 - 日鉱記念館(経済産業省・近代産業遺産群に選定) - お魚センター - 16時50分 大みか駅解散(日立駅より2駅南)

関東プラネタリウム巡り

施設の情報を第二報でアナウンス予定です。各自プランを立て楽しんでください。

■宿泊場所について

各自で近隣の宿泊施設をご利用ください。

下記のホテルについては、研修会特別プランをご用意いただいておりますので、お勧めです。

ホテル テラス・ザ・スクエア日立 日立駅から徒歩3分、会場館目の前、情報交換会会場

一泊素泊まり シングル 6,500円 (税込) 朝食付は 7,580円 ★宿泊日ごとにドリンクサービス
受付けは電話のみ。必ず研修会参加者であることを伝えてください。 Tel : 0294-22-5531

ホテル ウィングインターナショナル日立 日立駅から徒歩3分、会場館から徒歩5分

一泊素泊まり シングル 5,700円 (税込) 朝食付は 6,280円 ★12:00 からチェックイン可能
受付けは電話のみ。必ず研修会参加者であることを伝えてください。 Tel : 0294-23-2111

■施設パンフレットについて

みなさまの施設のパンフレットや番組チラシなどを会場内に置くことができます。事前の送付も可能です。事前送付受付は12月1日(月)～12月6日(土)まで

<送付先> 〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター科学館 担当 井上清正

■Web公開

ブログおよびtwitterにて新着情報を配信しています。

ブログアドレス <http://jpa2014-hitachi.blogspot.jp>

twitter アドレス https://twitter.com/jpa2014_hitachi

twitter アカウント [jpa2014_hitachi](#)

会場のご案内



公益財団法人日立市科学文化情報財団 日立シビックセンター

〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1

TEL.0294-24-7711

FAX.0294-24-7970

●JR常磐線「日立駅」中央口下車・徒歩3分

●常磐自動車道・日立中央ICから8分

●地下駐車場・255台
(1時間無料、以降30分100円)

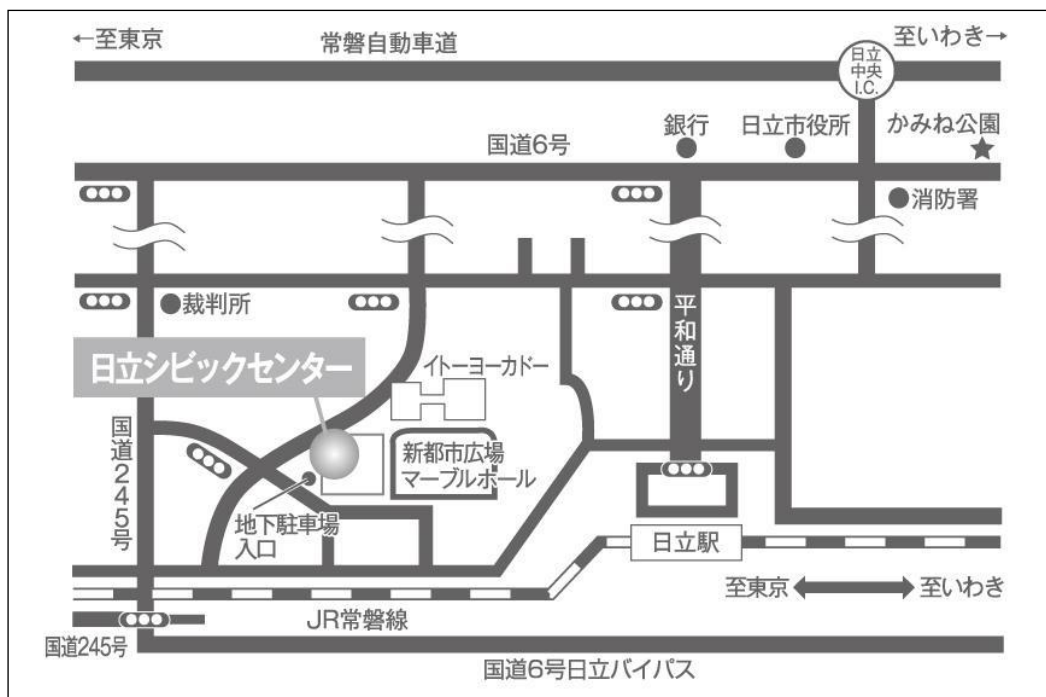
詳しくは
日立シビックセンター ウェブサイト
www.civic.jp



<https://www.facebook.com/hitachicivic>



@hitachicivic



お問い合わせ

E-mail でのお問合せをお願いいたします。

tenkyu@civic.jp 日立シビックセンター科学館 担当 井上清正